



# 岡田

学校教育目標  
10年間を見通した確かな学力と  
豊かな人間性の育成

目指す子ども

ふるさと加佐を愛し 夢 未来に向かって歩み続ける子ども  
~笑顔で いきき 自分から~

平成30年4月27日

舞鶴市立岡田小学校  
学校だより No.2

<http://okada-es.maizuru.ed.jp>



## 新緑の季節に…

4月の後半は比較的暖かく、先週は気温もぐんぐん高くなりました。湿度が低く爽やかで気持ちの良い日が続き、このままの陽気で初夏を迎えるとすると、「夏はどうなるんだろう」などと心配になりました。でも今週は雨模様…。寒暖の差が激しいですが、季節は確実に移りかわっています。

保護者の皆様には、過日（4月22日（日））授業参観・PTA総会・学級懇談会（修学旅行説明会）に多数ご参加いただきありがとうございました。本年度最初の授業参観で、緊張しながらもはりきって学習する子どもたちの姿が見られ、授業の中で活躍する様子をご参観いただくことができたのではないのでしょうか。休み時間や放課後に、グラウンドに出ると、子どもたちがドッジボールや鬼ごっこに入れてくれます。学年が入り混じって遊んでいます。ボールを当てられたり鬼にタッチされたりすると、すねたり怒ったりする子がいます。もちろんそれが「子どもらしい姿」で、とても素直な感情表現です。高学年になると、そういう「幼さ」が少しずつ消えて、遊びそのものの面白さや、その場の雰囲気を考えて楽しむようになります。しかし、それは自然にそうなるものではありません。まだ未分化な部分が多い子どもたちが、様々な経験を経て、自他の感情の起伏を理解し、その場に応じた行動ができるようになることは、そんなに簡単なことではありません。友達と遊んだり、喧嘩したり、悩んだり、喜び合ったりすることを経験し、自分（自分たち）で問題を解決し乗り越えていきながら、自分らしくよりよい生き方を学び身に付けていきます。問題を自ら乗り越える過程が大切で、大人は、傍にいて、立ち止まって考える子どもを、支え励ましていく重要な役割があると思っています。



学校教育目標の中に「豊かな人間性」を挙げています。友達と一緒に活動しようとする、よくトラブルが起きます。お互い違った人間なのだから当たり前ですが、お互いのことを考え、うまく折り合っていくこと（片方だけが我慢しているわけではありません）ができるようになります。一人一人が学校生活を楽しく感じ、思いやり溢れる学校になりそうです。自分の素直な気持ちが安心して表現でき、それぞれの思いが尊重される学習環境を築くことは、「豊かな人間性」を育てるために大切だと考えます。

徐々に軌道に乗り始めた平成30年度岡田小学校。充実した教育活動が展開できますよう、保護者地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

校長 波多野 暢 教職員一同



## 小中一貫で子どもを育てる 中学校教員乗り入れ授業

【加佐中・伊藤先生による体育の授業】

加佐中学校の教員による「乗り入れ授業」を算数と音楽と体育で行います。算数は5年生に週2時間と6年生に週5時間、音楽は5・6年生にそれぞれ週1時間ずつ、体育は週1時間、時期と学年を変えて実施します。中学校の先生の専門性を生かした授業をとおして、教科の「おもしろさ」を感じさせ、中学校へスムーズに接続できるように取り組んでいます。

小中一貫教育については、学校・学年だよりの他、本校ホームページや舞鶴市ホームページ内の「加佐中学校区の小中一貫教育」で随時お知らせしています。是非ご覧ください。ご意見がありましたら何なりと学校までお知らせください。

